

「ダビデとヨナタンの契約」

2026.3.11

聖書に学ぶ 34

I サムエル記 20:1~42

ダビデはサムエルの所で、サウル王が神の霊によって預言する者になったことを知っていました。ダビデは、神の霊によってサウル王が変えられたかどうかを知るために、ヨナタンを訪ねました。そこでダビデは、ヨナタンから信仰の励ましをもらい力づけられただけでなく、命をかけて自分を助けようとするヨナタンの愛を知りました。

私たちにはいのちを捨てて贖って下さった主イエス様がおられます。この愛に応える者にさせていただきます。

今日の学びの要点

「人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はない」ヨハネ 15:13
主を信じる信仰によって、人はこのように愛し合うことができます。主イエスを中心とするなら、私たちも互いに愛し合い、支え合う者となることができます。

I、ダビデとヨナタンの違い

(Iサムエル記 18:1~12)

1、Iサムエル記 18:1 にはヨナタンの思いが記されていますが、
ダビデの何が王子ヨナタンの心をつらえたのでしょうか。

()

① Iサムエル記 18:12 ……

②ダビデにみる御霊の実—謙遜・忠実・自制 (ガラテヤ 5:22~23、Iサムエル記 18:23~30)

2、サウル王についての理解が少し違う

①ダビデ：狙われているので、現状のことしか考えられない。(Iサムエル記 20:3)

②ヨナタン：父サウルがダビデを殺すことはない。この問題を乗り越えた後、
ダビデが、周囲の敵を滅ぼし、王位に就くと見ている。

(Iサムエル記 20:14~15)

3、ダビデとヨナタンは契約を結びました。どのような契約ですか。

①サウル王の本心を確認する

- ・ 新月の食事に同席しないことについて（Iサムエル記 20:5~6）
- ・ ダビデに罪があるのなら、ヨナタンの手で殺してほしい。（Iサムエル記 20:8）
- ・ サウル王のダビデ殺害の決心が分かったら、教える。（Iサムエル記 20:9）

②ダビデが王になったとき（Iサムエル記 20:15、16）・・・

Ⅱ、サウル王の思いが分かったとき

1、ダビデの席が2日続けて空いている理由を話したヨナタンに、父サウル王は何と言いましたか。（Iサムエル記 20:30、31）

①ダビデへの憎しみ → ヨナタンへ向かい → ヨナタンの母にまで向かう

②ダビデに対する思い

2、父サウル王の憎しみは、どのようなものでしょうか。

（Iサムエル記 20:33）

3、ヨナタンとダビデはここで最後の別れをします。自分の命も惜しまずダビデを逃がすヨナタンの心から、私たちは何を思いますか。ヨハネ 15:13 を読みましょう。